

氏名	廣井 一正
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博 甲第 6017 号
学位授与の日付	令和元年6月30日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科 生体制御科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Postoperative Course of Serum Albumin levels and Organ Dysfunction after Liver Transplantation (肝移植術後のアルブミン値と臓器障害)
論文審査委員	教授 藤原俊義 教授 大藤剛宏 准教授 高木章乃夫

### 学位論文内容の要旨

肝移植術後において、術後の低アルブミン (Alb) 血症は急性腎障害などの有害事象に関連しているとの報告がある。肝移植術後のアルブミン値維持や投与についての報告は散見されるが、現在明確な基準は存在しない。当院では術後の腹水補正に Alb 投与を施行している。今回我々は肝移植術後の血漿 Alb 値と臓器障害の関係性を検証した。2012年5月から2015年12月までの肝移植患者を対象に、術後1週間 Alb 値 3g/dl 以上を維持した群 (高 Alb 群) と満たさなかった群 (低 Alb 群) での臓器障害との関係性を後ろ向き観察研究した。主要評価項目は術後1週間の SOFA スコアとした。主要評価項目の術後1週間の平均 SOFA スコアに差はなかったが、心血管系の平均 SOFA スコアは高 Alb 群で低かった。当院の肝移植患者術後において、Alb 値の高低は SOFA スコアによる臓器障害に関与しない可能性がある。また高 Alb 群は、心血管系の平均 SOFA スコアはやや低く、Alb は血圧維持や昇圧剤使用減量に関連している可能性が示唆された。

### 論文審査結果の要旨

肝移植術後の低アルブミン (Alb) 血症は有害事象と関連しているとの報告がみられ、積極的に術後の低 Alb 血症の補正が行われているが、その意義はまだ明確ではない。本研究は、肝移植術後1週間の血漿 Alb 値と臓器障害の関係性を検証した単施設における後ろ向き観察研究である。

岡山大学病院で肝移植を施行された 60 人を対象に、術後1週間 Alb 値 3g/dl を維持した 32 例 (高 Alb 群) と満たさなかった 28 例 (低 Alb 群) の SOFA (Sequential Organ Failure Assessment) スコアを比較したところ、主要評価項目である平均 SOFA スコアで 2 群間に有意差はみられなかった。また、副次評価項目である合併症、追加治療、腹水量、ICU・病院滞在日数にも 2 群間で差は認められなかった。したがって、肝移植患者の術後において、Alb 値は SOFA スコアによる臓器障害に関与しない可能性が示唆された。

委員からは、SOFA スコア以外の肝腎機能の評価指標や変化率などを算出して比較するべきではないかとの質問がなされ、今後検討していくとの回答であった。

本研究は、肝移植後の患者において、必ずしも低 Alb 血症を補正する必要がない可能性を示した点で、重要な知見を得たものとして価値ある業績と認める。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。